

TOLIC ものづくり連携コンソーシアム第7回カンファレンス

日時:2018年8月10日(金) 13:00~17:30

場所:ホテルルイズ 3階 万葉

主催:協同組合産業社会研究会経営者革新会議(IMS)

後援:第11回TOLICカンファレンス、盛岡市、(地独)岩手県工業技術センター(予定)、東北経済産業局、北東北ナノメディカルクラスター研究会、(公財)いわて産業振興センター(予定)、(国大)岩手大学(予定)、INSいわてコーディネート研究会、東北CAE懇話会

◆テーマ

「TOLIC・ライフサイエンスパークの実現に向けて！」

◆会員企業報告 13:05-13:45

◆滝沢市報告「滝沢市IPUイノベーションパークについて」 13:45-14:05

滝沢市 経済産業部 企業振興課

◆講演会 14:15~17:30

「実りある産学連携実現に必要な諸要素 再生医療開発を例とした話題提供」

国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト 研究員 小出 直史氏

私たちは再生医療実現の一つとして、2014年に加齢黄斑変性患者に対して自家移植を、2017年より他家移植を実施している。再生医療は細胞製造に焦点があたりがちだが、品質管理、臨床検査、手術デバイス開発、さらには診断・評価法に至るまで医療として昇華させるために揃えるピースは少なくない。そのため専門性を集積させることが容易でないため開発が散在しやすい脆弱性を抱えている。また、複数分野に跨る並列的な開発が求められるため、先端科学技術の動向や走りながら得られる知見という不確実性と流動性の高い諸課題に対応するプロジェクトマネジメントが求められる。今回はRPE開発を例に話題提供したい。

「川崎市キングスカイフロントと産官学行連携:COINS/iCONM」

株式会社ニコン 経営戦略本部事業戦略部 塩野 博文氏

神奈川県川崎市臨海部・羽田空港の対岸に位置するキングスカイフロント。ここに医療領域における研究機関や企業が集まり活動を始めました。そこに在る機関・起業のご紹介と環境、そして川崎市の取り組みをご紹介します。また、新たな試み「産・学・官・行」の連携を行っている、文部科学省系国プロ:COINSプロジェクトと、これを進める拠点=iCONMについてもご紹介させていただきます。

「Deep Binary Tree とヘルステック」

岩手大学 理工学部 准教授 金 天海氏

岩手大学が開発した新型人工知能Deep Binary Treeは人工知能の有識者が近くにいなくとも安定した学習処理を行うことができる世界初の人工知能である。Deep Binary Treeは株式会社エイシングから販売・実用化されており、多くの企業が応用研究を行っている。本講演では、Deep Binary Treeの概要と現在から将来に期待される応用先までを様々な事例を通じて紹介する。特にヘルステック分野では、医療機器の性能向上や個々人に応じた健康管理などへの応用について述べる。

◆懇親会 17:45~20:15 ホテルルイズ14階 会費5,000円